

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年六月度 入選句（投稿総数二千四百九十九句・小中学投句数千八百七十七句）

### 特選

選者 名和 よちゑ

饒舌な蟬に呼ばれて角曲がる 美濃加茂市 平山 華音(中二)

夏の蟬は、ジージーと鳴く油蟬、ミンミンと鳴くみんな蟬、鳴く時間帯によって朝蟬、夕蟬など受ける感じが違います。さて作品の饒舌な蟬とは、意を得た表現ですね。そんな蟬に呼ばれて角を曲がったと言うのですね。初めての道でしょうか。言葉が厳選され、幻想的な世界を思わせる表現方法に感動しました。色々な想像をかきたてられる作品となりました。

夕立ちがみんなの話す声を消す 大垣市 近藤 秀介(小五)

夏の夕立は、積乱雲が発達して雨を降らせるもので、多くは雷を伴った激しい雨になります。学校の部活帰りでしょうか。買物のお手伝いの帰りでしょうか。とっぜん雨にあわてて、お店の軒下やコンビニに逃げ込むしかありませんね。雷が鳴り出し、洋服がずぶぬれになっても女生徒達はいつも楽しそうです。

麦の秋風がふいたら金のなみ 大垣市 渡邊 志織(小四)

麦の穂が実り、黄金色に熟していく五〜六月ごろをいい、このころの麦畑の印象は強く残ります。この辺りは、田んぼの稲はまだなよなよと頼りない感じですが、麦畑はすでに実りの時期をむかえています。穂先はまっすぐにのびていて風が吹くと金のなみとなり、ふれ合うと何とも言えない音もしますね。しっかりと良く観察しましたね。はつきりと情景が浮かんできます。

### 秀逸

雨あがり雨つぶがとぶペンペン草 美濃加茂市 奥村 勇翔(中二)

桜さき心につのる不安かな 美濃加茂市 木村 珂憐(中二)

母の日に父と選んだブーゲンビリア 大垣市 野村 陽向(小四)

だがし屋であふれるソーダ水とあせ 大垣市 小田切 亜実(小四)

みつけたよメダカのたまごちいさいな 大垣市 松本 あまね(小三)

休みの日あたってうれしい水てっぽう 大垣市 山田 祐鈴(小四)

あまつぶに光がさしたかくだいきょう 大垣市 山岸 快飛(小四)

母の日は私が一日お母さん 大垣市 窪田 麗奈(小五)

紙ふぶき大垣祭りだしにまう 大垣市 松田 彩音(小五)

夏の海キラキラひかるラメのよう 大垣市 猿田 真央(小四)

入選

こいのぼりりゅうになって飛んで行け 愛知県愛西市 大和りんね(小六)  
 ビールはね命のみなもとなんだって 美濃加茂市 堀之内 寿記(中二)  
 虹きれい君の笑顔もきれいだな 美濃加茂市 岸 大翔(中二)  
 通学路右見て探す夏の季語 美濃加茂市 平山 華音(中二)  
 天皇の玉音がれた夏の昼 美濃加茂市 小原 光葵(中二)  
 そよそよと天守にふきぬくわかばかぜ 大垣市 土屋 渚那(小五)  
 彦根城夏のびわ湖が光ってる 大垣市 伊藤 彰啓(小五)  
 にじを見てどこまでつづくかきになって 大垣市 杉原 ゆづき(小四)  
 夏まつりおぼけやしきにぼくじたい 大垣市 深見 亮太(小四)  
 母の日にわたしのえがおプレゼント 大垣市 柿迫 明沙(小三)

入選

トイレ行くかがみを見るとゆうれいだ 大垣市 伊藤 煌貴(小四)  
 かめがいるかめにあったしやぼんだま 大垣市 川合 悠登(小四)  
 こいのぼりはこにしまつてまたらいねん 大垣市 川瀬 恵太(小五)  
 お父さんビールをのんでたこになる 大垣市 伊藤 希彩(小五)  
 せみが鳴くチャンスの場面でホームラン 大垣市 上田 晴陽(小五)  
 お母さんゼリーじゃなくてかき氷 大垣市 桑原 咲來(小五)  
 もやいぶね若葉の下で船頭待つ 大垣市 織田 真顕(小六)  
 川の中メダカの学校夏休み 大垣市 赤尾 世楽(小六)  
 はすの花かいだんめぐってまぶしいな 大垣市 奥田 蒼弥(小四)  
 つゆはじめもちものひとつふえちゃった 大垣市 川瀬 心晴(小四)  
 手の中で光るホテルをのぞきこむ 大垣市 炭竈 玲亜(小四)

選者吟

梅雨寒や剥製の目に迎へられ

よちゑ